

ABI・PWV(脈波伝播速度)		S108		
		担当部署		
ABI		生理		
検査オーダー				
患者同意に関する要求事項		該当なし		
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→生理→ABI・PWV(脈波伝播速度)→ABI・PWV(脈波伝播速度)		
	2			
	3			
	4			
	5			
検査に影響する臨床情報		ABI 高値の頻度が高い：高齢者、透析患者、糖尿病患者、大動脈弁閉鎖不全、腎不全 ABI 低値の頻度が高い：動脈がしなやかな若年者 *baPWV は腸骨動脈、大動脈に著しい狭窄がある場合低下傾向を示す		
検査受付時間		8：45～17：30		
検体採取・搬送・保存				
患者の事前準備事項		1) 検査直前の激しい運動は避ける。 2) 四肢を露出してもらい安静仰臥位で検査を行う。		
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし		
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1	人体(四肢)	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
検体搬送条件		ベッド可能		
検体受入不可基準		1) シヤントを構築した四肢(両腕共に血圧測定できない場合) *ABI は左右の上腕収縮期血圧の高い側を基準に算出している。ただし、維持透者のシヤント側が血圧測定できないように、何らかの理由で片腕しか測定で		

	きない場合は無条件でその血圧が基準になる。 2) 持続点滴中の点滴針留置側は測定できない。 3) 透析後は2時間の間隔を空けてから測定する。 4) ポータブル不可。 5)検査に同意を得られない患者					
保管検体の保存期間	特記事項なし					
検査結果・報告						
検査室の所在地	病院棟3階 中央検査部					
測定時間	30分					
生物学的基準範囲	ABI>0.9 正常値 ABI<0.9 動脈閉塞の疑いがある。 ABI<0.8 動脈閉塞の可能性が高い。 0.5<ABI<0.8 動脈閉塞が1箇所はある。 ABI<0.5 動脈閉塞が複数箇所はある。					
臨床判断値	該当なし					
基準値					単位	特記事項なし
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	
パニック値	高値	該当なし				
	低値	該当なし				
生理的変動要因	該当なし					
臨床的意義	ABI 検査と PWV 検査は、手と足の血圧の比較や脈波の伝わり方を調べ、動脈硬化(血管の老化など)の程度や早期血管障害を検出する。					